

2期目インタビュー

岸田一夫 鉾田市長

「住みよいまち ほこた」 を目指して

東関東自動車道の鉾田インターチェンジの開通で企業誘致の推進など、新たな経済発展が期待される鉾田市。21年10月に任期満了に伴う鉾田市長選で、無所属の2人の候補者を破り2回目の当選を果たした。「迅速な道路整備や、懸案だった新ごみ処理施設整備を推進した1期目が評価された結果」と語る。さまざまな課題に取り組む岸田一夫市長に、課題や展望を聞いた。

まずは2期目の当選について率直なお気持ちを聞かせてください

先の市長選挙におきまして皆様からの力強いご支援とご厚情を賜り、引き続き2期目の市政運営の重責を担わせていただくことになりました。具体的には道路インフラの迅速な整備など、積極的な政策が評価された結果が現れたと感じています。皆様の信頼に応えるべく、「いのち」と「くらし」の先進都市を目指し、「行ってみたい、住んでみたい、住んで良かった、住み続けたい」と思っていただけの鉾田市の実現に向け、ただ実践あるのみと決意を新たにしています。

また議会議員の皆様をはじめ市民の皆様ならびに全市役所職員の協力がなければそれを実現することはできないと考えております。そのためには鉾田市全ての力を結集し、「オール鉾田」で臨んでいかなければなりません。「市民が主役」という思いを忘れずに新たな4年間も全力で取り組んでいきたいと考えています。

全国的に深刻な問題である人口減少は、地域経済の縮小やコミュニティ衰退につながる喫緊の課題です。当市でも出生数が減少を続けており、さらなる少子高齢化の進行が予想されます。安心して子どもを育てられる環境整備の一環として、2023年4月の開園に向け、幼保連携型認定こども園の建設を進めます。新園舎については旧鉾田小学校敷地内を利活用します。定員は130人、0〜5歳児が対象です。

子育て、教育環境の整備に力を入れています

また、統合小学校整備の締めくくりにあわせて、22年度は実施設計、23年度に工事着手

新鉾田駅周辺の再整備に着手

未来に希望の持てる「持続可能なまち鉾田」を、次代を担う子どもたちにつなげていくことが重要だと考えます。

新たな庁舎建設について

施設の老朽化に加え、スペース不足や各部署が分散していることなどから行政運営面で多大な支障をきたしています。建て替えることになった場合、新たなまちづくりを行うという考え方も検討していきたく思います。道路体系や周辺の開発など、まちづくりの中核をなす施設として新庁舎を位置づけ、にぎわいのあるまちを復活させたいと思っています。市民の命と財産を守るという防災機能を兼ね備え、利便性や機能性に優れた施設を目指します。

道路インフラ整備について伺います

19年度から整備に着手している、20年度までに34か所の整備が完了しました。21年度は21箇所の工事を発注し、11月末時点で15箇所の工事が完了しています。生活道路整備は5年間で整備する計画で、残り25箇所を22、23年度で完了するように進めていきます。

国が整備する国道51号生地区歩道整備は、早期着工が図られるよう市では国から用地取得の事務委託を受け、21年4月に旭総合支所内に「国道51号整備推進室」を立ち上げ本格的に事業に着手しています。

21年度、国では現地測量を実施し、必要な用地の幅杭を設置し、物件等の調査を順次進めており、年度内には建物に伴わない対象者との土地や補償契約の締結を目指します。用地取得には、概ね3年間を予定しており、工事は用地取得状況を踏まえ着手する計画です。

新鉾田駅の整備が進んでいます

整備から30年以上が経過し、老朽化箇所が目立っています。ロータリーや待合室、市営駐車場を再整備し利便性向上を図ります。駐車場については計71台分を確保します。約4000㎡のロータリーや待合所については、22年度に工事に着手する計画です。待合所はLED照明やフリーWiFi設置を検討しています。利用頻度の高い鉾田一高や鉾田二高に通学する生徒からの意見を取り入れながら整備を進めていきます。また、エレベーターの設置や改札の改修については、管轄する鹿島臨海鉄道(株)と協議しながら進めていく計画です。

海を生かしたまちづくりの取り組み

私は海岸地区に生まれ、海水浴客の賑わいや、鹿島灘が一望できる海岸線が日常の風景となっている中で育ちました。鉾田市の海が持つ、ほかにない優位性や無限の可能性を活かし、魅力を発信することで多くの人に鉾田に来てほしい、賑わいを取り戻したいと常に思案していました。

これまで国や県などにより、鹿島灘海浜公園周辺道路が整備



▲22年度はロータリーや待合所の整備を予定

され、交通アクセスが非常に良くなっています。高い可能性を有する鹿島灘海浜公園において、豊かな自然を生かしたさらなる魅力ある施設を整備することによって多くの観光客を呼び込むため観光の一大拠点化を推進していきたいというのが私の思いです。

国や県の協力はなしには成就するものではありません。地元の皆様との協力を得ながら多くの市民の期待に応えるべく、積極的に要望していく所存です。

お声かけ

皆様のご協力により、鉾田市は確実に変化しています。1期目でやり残したことを完遂するためにも、しっかりと行政基盤を固めます。そのためには、市民の皆様をはじめ多くの方々のご理解が必要です。建設業の皆様への存在は、地域の安全安心の確保には欠かせません。緊急時の対応については、地域性を熟知した市内建設業者の果たす役割は非常に大きいと感じています。皆様のお力添えがあるからこそ、スピード感のあるインフラ整備ができます。明るく未来ある鉾田市を形成していくためにも引き続きご協力をお願いいたします。

社会資本整備を通して、鉾田市の発展に貢献いたします

鉾田市建設業協議会

会長 藤枝 洋二
副会長 渡邊 敏男
副会長 小松崎 裕敏
副会長 佐々木 晴美

【鉾田地区】

- (株) 青光興建 粕尾工務店 (株) 中央建設 (有) 米川重機
- (株) 青山建設 (株) 宏信工業 (株) 新堀建設
- (株) 飯塚工務店 (有) 菅谷工務店 (有) 日榮建設
- (株) 伊東建設 (有) 鈴木工務店 藤井建設 (株)
- (株) 内田建設 (株) 田中工務店 (株) 二川工務店
- (有) 大槻製材所 (株) 大輝建設 (株) 丸二工務店

【大洋地区】

- (有) 飯島工務店 (株) 沼田工務店
- 岸田建設 (株) 藤枝建設 (株)
- (株) スガヤ (株) ミドリヤ
- 大洋設備工業(株) (有) 山口工務店
- (株) 田口建設工業
- 内藤建設 (株)

【旭地区】

- (株) 旭スチール建設工業 (株) 中野建設
- (有) 石田建材 (有) ハシモト
- 大内工務店 (株) マルシン鉾田支店
- (有) 栗田開発 (株) 村田工業
- (有) 小橋工務店 (株) 吉川工務店
- 酒井建設 (株) 渡辺設備工業
- (株) 佐々木建設